

星まつり
祈願始め



発行所

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044

11・12月号



撮影 松山市 中矢 宗和 題目：朝焼け日の出 飛翔

道

友人が伊勢の神宮を参拝しました。

彼は様々な職業を経験し、その後、自身で建設業を起業、日々懸命に働いています。

彼は、神宮の大前で何を祈ったか。

道中では様々な事を考えていたそうですが、外宮、内宮と参拝する際には、

「どうぞ、皆が幸せであります様に、何事もありませんように、お守りください。」家族、社員、友人、得意先、近所の方々のお顔が浮かび、只々、そのように祈っていたそうです。

「いざ拝むとなると、それしか頭に浮かばなかったよ。」と語る友は、とても爽やかな涼しい眼をしていました。

神様、仏様の前では、皆、素直な心を現します。その後は誰もが、このようなお顔になれるのだと心から感じました。

武智。

十月五日 石鎚本教秋季例大祭 厳肅裡に斎行

去る十月五日(水)石鎚神社口之宮本社御本殿にて、秋季例大祭が盛大に斎行されました。

当日は、雨天の中全国各地より多数の石鎚信徒を始め、神社界政界各界より御来賓のご参拝を賜り、午前十時より祭典を斎行。

武智宮司管長が祝詞を奏上し、日々の御神恩、五穀豊穰に感謝申し上げ、平岡明筆頭常務総代・本教理事により総代祈願詞が奏上されました。



祭典は、「石鎚立螺之会」の皆様が勇ましい立螺に始まり、神御衣、本教幣が奉られ



続いて巫女が浦安の舞を奉納。



続いて神社役員、御来賓を始め崇敬組合長教会長遙拝所長講社長に玉串礼拝をして頂き、今日の日をお祝い申し上げると共に、それぞれの願事を祈願して厳肅に祭典を終了致しました。
続いて、神御衣が
香川県 琴平教会
西予市 伊予教会
大分県 大分吉野遙拝所へ、それぞれ下付され、
福岡県 敬祥教会
が教会等級準二等へ、
愛知県 岩倉教会
が教会等級三等へ、それぞれ昇格いたしました。

来賓祝辞として

神社本庁長老

井豫豆比古神社名誉宮司

長曽我部延昭様

参議院議員 山本順三様



よりご挨拶を頂戴し、その後、神輿にご神像をお遷しして神輿渡御が行われ、敬神婦人会の花神輿と共に社務所前へ到着し、お餅撒きが行われました。

雨天のため御旅所祭は本殿での総神楽にて執り行われ、巫女による豊栄の舞や敬神婦人会の「踊り」と「石鎚音頭」、西田獅子舞保存会の獅

子舞が奉納されました。その後、御神像は本殿へ環御されて御神像拜戴がなされ、二回目のお餅撒きが本殿向拝より執り行われ、福木も併せて撒かれました。



なお、神御衣は
新居浜市 大西彌太郎 元老
大打山遙拝所

石崎昌司 元老大顧問

また、お餅は

徳島県 東予崇敬組合徳島県支部

支部長 武田喜善 名誉部長

愛媛県 原井川平 神鏡笏

大分県 掛丸貞子 元老大顧問

大分県 成迫重太 副取締

徳島県 金平敏孝 特選部長

お餅撒きに一緒に撒かれまし

たタオルを、

曾我部タオル(株)

曾我幸広 元老大顧問

に御奉納いただきました。誠にありがとうございました。

今大会で各方面にてご奉仕、

御奉納を賜りました豊友会、

敬神婦人会、信徒の皆様方には、

何かと大変でございましたが、

大神様の為と思い誠心

からのご奉仕をいただき、無

事に秋季例大祭を斎行できま

したことをこの場をお借り致

しまして篤くお礼申し上げます、

信徒皆様方の今後益々のご健

勝、ご多幸を心よりお祈りし、
ご報告と致します。

福木投げの当選者

特賞一等 ブルーレイプレイヤー

西条市 伊藤 恵美子様

特賞二等 銘柄炊き分け炊飯器

松山市 山田 智淳様

特賞三等 電動ポット

松山市 井上 勲様

特賞四等 シェーバー

西条市 戸田 武浩様

特賞五等 食器乾燥機

松山市 熊 吉雄様

特賞六等 布団乾燥機

西条市 山本 篤幸様

特賞七等 低周波治療器

徳島県 蔵本 敏男様

特賞八等 超音波電動歯ブラシ

松山市 井上 勲様

特賞九等 デジタルカメラ

高知県 大石 知幸様

記 出仕 鴨頭洗介

※(ご芳名は全て順不同です)

十月六日 祖霊殿 秋季例大祭・合祀祭斎行

境内にある祖霊殿。石鎚山

御案内

開山の祖・役小角をはじめ社

※御遺族様には該当の命日月

司・宮司、霊峰石鎚の為に

(毎月十五日、月次祭終了後・

力添えを戴きました先達・教

案内は月を先取りしていま

師・特別崇敬者にて帰天され

す)に命日祭の御案内を差し

ました方々をお祀りしており

上げています。住所変更あり

毎年四月・十月の六日、午前

ます方はご一報願います。

十時より例大祭並びに合祀祭

※祖霊殿春・秋例大祭のご案内

を斎行しています。

内は今年、新たに合祀された

秋季例大祭は秋風吹く中、

御遺族様と過去三年以内に合

関係御遺族・神社役員のご参

祀された御遺族の方へ案内を

列を戴き斎行されました。

差し上げております。以外の

合祀されました御霊の在り

御遺族様も御参列戴き、御霊

し日の面影を偲び、思い出の

和めの祭典を共に御奉仕した

数々を顧みる中に、凜とした

いと思います。

お姿、また皆を導く大きな背

春秋大祭・命日祭への数多

中、優しいお顔を思い出しな

くの御参列をお待ちしており

がら御霊安かれと祈念致しま

ます。

した。先達・教師の皆様が、

●先達会符の名義変更などお

築かれました篤き志を、また

済みでない御遺族様、またご

優しき御心を継がれますこと

不明な点等ございましたら遠

をお祈り申し上げます。

慮無く神社までご連絡下さい。

この度合祀されました新祭

神をご紹介申し上げますと共に、

に、ご冥福をお祈り申し上げます。

令和四年 十月六日 祖霊殿合祀祭神名

元老大顧問

大取締役

権少教正

命

西川 薫 刀自命

初谷 サダコ 刀自

元老

取締役

二村 良幸 大人命

楠瀬 多津子 刀自命

名誉大監長

取締役

由木 正一 大人命

藤川 三代子 刀自命

特選部長

(順不同)

津野 アマデウ 大人命

特別大監長

少講義

石崎 孝司 大人命

特別大監長

黒川 増太郎 大人命

特別大監長

石崎 光雄 大人命



教会等級昇格

令和四年 十月五日付

準二等教会

福岡県 敬祥教会



・教会長 勝本房利

元老・少教正

・昭和四十七年創立 五十年目

・昭和五十三年 三等教会昇格

・勝本教会長は、平成五年より

三代目教会長として教会を

継承、二十九年間に亘り連

綿と祭儀を厳修。

・現、豊友会 会長

・古道の三十六王子社巡拝に

は思いも深く、巡拝回数は

石鎚信徒中、随一と思われる。

文責、武智。

辞令発令

福岡県北九州市

勝本 房利

石鎚本教 評議員を

任命します

令和四年十月五日

宗教法人 石鎚本教

管長 武智正人



教会等級昇格

三等教会

愛知県 岩倉教会



・教会長 田中聡哉

元老大顧問・神鏡笏・大教正

・昭和四十年創立 五十七年目

・平成二十八年

準三等教会昇格

・平成六年より二代目教会長

として教会を継承、二十八

年間に亘り、連綿と祭儀を

厳修。

・夏山大祭奉仕も長きに亘る。

文責、武智。

石鎚本教蔵王教会

責任役員変更

※鎮座地 広島県福山市

※新任責任役員氏名

岩田 雅彦

右、令和四年六月二十日付、
管長辞令発令。任期は前責任
役員の残任期間。



お初穂奉納者

石鎚本教秋季例大祭併

五万円以上ご奉納いただきました皆様

《本社》

◎六拾万円以上

福岡神和教会

佐伯 良子

◎参拾五万円以上

大阪教会

湊 喜美子

◎貳拾万円以上

導不動産遙拝所

(株)大屋 岩崎 光照
伊藤慎太郎

◎壹拾五万円以上

大分石鎚教会 江藤 秀人

香春教会 川津 守秀

睦美教会 田窪 一善

吉見教会 加藤 法泰

◎壹拾万円以上

和食教会 安岡桂一郎

吉田教会 越智 汀祐

霊威教会 中西 幸男

葉山教会 岡村 信一

東雲講社 黒田 明子

株式会社浦松建設

浦松 大八

(株)はる希

川渕 佳也
中西 幸男

◎五万円以上

須之内 明吉

穂波教会

越智 節子

鐘ヶ淵教会

山田 春治

防府教会

山中 将史

安芸教会

川西 久美

山南嘉和教会

岡本 嘉孝

勝山遙拝所

白石 順子

愛知遙拝所

澁谷恵美子

赤坂教会

木村 稔

神明遙拝所

大西サカエ

石鎚登山口ロープウェイ(株)

伊藤 和豊

十亀 興美

浦松 傳

武田 喜善

松浦 節子

竹下 一郎・加奈

◎タオル奉納

曾我タオル株式会社

曾我 幸広

(順不同・敬称略)

また、本社での五万円以上のお初穂奉納者につきましては、本社手水舎前に掲載させていただきます。ご奉納心から篤くお礼申し上げます。

御奉納

十月五日の

石鎚本教秋季例大祭にて

『大幟旗』を新たに境内に

御奉納いただきました。

令和四年十月二十二日

『大幟旗』御奉納者

大阪府高槻市

結婚祝

西山 博通

亜 貴

(敬称略)

御奉納誠にありがとうございました。

さいました。



投げ餅ご奉納

為、石鎚神社本社 秋の御大祭

東予崇敬組合 徳島支部

支部長 武田喜善 名誉部長

去る十月五日、石鎚神社本

社の秋の御大祭に、東予崇敬

組合の徳島支部の皆さまが、

投げ餅を奉納された。

石鎚大神様への献上の思い

を込め、丹念につづつ作り

上げてのご奉納であった。

皆様の笑顔のご奉仕に、神

も照覧疑いなく、大祭当日に

は、実に盛大な餅投げとなった。

深く御礼を申し上げます。

仕の皆さまのご紹介と致します。

権宮司 十亀 博行

ご奉仕・ご奉納者

武田 喜善 ・ 武田みどり

藤本 敏男 ・ 藤本 園枝

平岡 明 ・ 平岡 武子

河合 龍男 ・ 三笠 清

木下 賢功 ・ 石井富三子

河合 純子 ・ 坂口 敏子

北 光生 ・ 北 恵美

森岡 政和 ・ 森岡百合香

星川 弘明 ・ 大崎 訓子

上田佐知子 ・ 藤本 幹代

住友 敬子

(順不同・敬称略)

令和四年九月十五日 長寿祭齋行

朝夕に秋の訪れを感じる九月十五日午前十時齋行の月次祭に併せ、数え年八十歳を迎えられた神社先達・本教教師・敬神婦人会の皆様を祝う長寿祭が斎行されました。

取締

山本 泰章

敬神婦人会

橋支部

当日は七名の該当があり、感謝状・ハンテン、敬神婦人会より風呂敷とバッグが贈られました。

村上 登志子

十亀 昌枝

感謝状・ハンテン、敬神婦人会より風呂敷とバッグが贈

日野 藤枝

れました。

藤本 寿子

八十歳・傘寿を迎えられた皆様方には、石鎚信仰をする中で多くのお陰と喜びがあったと思います。今後も大神様のお導きを戴かれ、ご健康で

大阪支部

岩本 充

ご多幸でありますことをお祈り申し上げ、お名前をご紹介し報告とさせていただきます。

長寿祭御芳名

(敬称略)

監長

小林 静夫



令和四年度

東予崇敬組合協議会 開催

東予崇敬組合長

河端 光則

元老大顧問

権大講義



日時 九月十七日

時間 午前十時三十分～

場所 石鎚神社会館

本社出席者

武智宮司

伊藤常務総代

曾我部彌宜

曾我部権彌宜

当日は台風十四号の影響で雲に覆われる天気の中、河端組合長が議長を務め協議委員会が開催されました。

協議委員会は一時間三十分ほど行われ、収支決算報告、予

算案審議がそれぞれ承認、今年度のお山開きの状況についてでは、例年より参拝者が少なかったことや、昇進のことが河端組合長より伝えられ、組合大祭の件では、百五周年の大祭を令和七年五月三十一日に讃岐神大遙拝所で行われることが決まり協議委員会は閉会。その後、直会が和氣満々とした雰囲気で行われました。今後とも河端組合長を扇の要に東予崇敬組合の皆様の益々のご活躍を御祈念し、まして報告とさせていただきます。今協議会にて辞令が発令されましたので併せてご報告させていただきます。

協議員 神辺哲也 名誉部長

藤本孝一 特別大監長

顧問 菅野辰子 元老大顧問

会計 久保拓哉 副取締

順不同敬称略

報告 権彌宜 曾我部洋輔

令和5年

厄年表

(数え年)

男性 大厄 42才			女性 大厄 33才		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
	平成11年生 25才  う			平成17年生 19才  とり	
昭和58年生 41才  み	昭和57年生 42才  いぬ	昭和56年生 43才  とり	平成4年生 32才  さる	平成3年生 33才  ひつじ	平成2年生 34才  うま

還暦 61才
古稀 70才
喜寿 77才
傘寿 80才
米寿 88才
卒寿 90才
白寿 99才

昭和38年
昭和29年
昭和22年
昭和19年
昭和11年
昭和9年
大正14年

百才以上の方は、毎年お祝い致します。

それぞれの年賀の年齢（数え年）を迎えた年に、神社で年賀のご祈祷を受けた後、家族の皆さんでお祝いするのが通例です。
年賀や厄年のお祓いは、古例では2月1日ですが、その前後の日でも差し支えありません。
石鎚神社では、年間を通して、年賀、厄よけのお祓いを致しております。

数え年・男女とも共通

年賀

※石鎚神社では、この厄年・年賀の年齢での御祓いをお勧めしております。

甥姪	姉妹	従兄弟	姉妹	兄弟	同母方	叔父伯父	嫡孫	養子	嫡子	妻	夫	同母方	父曾母祖	同母方	祖父母	父母	種別
三日	三日	二十日	十日	二十日	十日	二十日	二十日	二十日	二十日	二十日	遠慮日	二十日	二十日	二十日	三十日	五十日	忌
七日	七日	九十日	三十日	九十日	三十日	九十日	三十日	九十日	九十日	十三月		九十日	九十日	九十日	百十五日	十三月	服
一、忌（き）は死穢に触れる事を忌み慎しむ期間のこと、この間は神祭り及び神社参拝などは遠慮しなければならぬとされている。 二、服（ぶく）は喪中別に喪服を着用し謹慎の意を表す期間の事で普通神祭りや神社の参拝など差し支えないとされている。 三、七才未満の小児には服忌なし、その父母のみ三日間遠慮のこと。 四、遠地にあるもので、父母にについては、聞いた日から忌五十日、服十三月をうけ、その他のものは聞いた日から忌の残数日のみを受け既に経過しているときは一日遠慮のこと。 五、したがって神事は忌明けまで遠慮のこと。但し特に必要あらば忌日数の半分以上経過すれば餘服の祓を受けると差し支えない。																	説明

年末年始 祭典・行事 案内

『本 社』

【十二月】

■一日(午前十時より)

月次祭 併せ 新穀感謝祭

師走入りの月次祭に併せ、この年の新穀をご神前にお供えし、稔りに感謝申し上げる祭典。

■十三日

正月事始め

すす払い・松迎え

正月を迎える準備を始める日。正月縁起物の頒布を始めます。

■十五日(午前十時より)

月次祭・命日祭

本年最後の月次祭。また祖霊殿にて当月の命日祭を執り行います。

■二十二日(午後四時より)

星祭祈願始め祭

冬至であるこの日より、明年節分まで朝夕に祈願を行います。

詳しくは十二ページをご覧ください。

■三十一日(午後五時)

大 祓 式

一年間、知らない間に犯した罪穢を祓い清める祭典。清々しい気持ちで新年に臨みましょう。

年 越 祭

(午後十一時四十五分)

除夜は年神様を迎えるために、心身を清め、一晚中起きているのが年越しの習い。一年間の感謝と来る年の幸せを祈りましょう。

【正月】

■元日(午前零時より)

元 旦 祭

一年の始まりです。初詣を行い、今年一年の無事と平安を神様に手を合わせましょう。

引き続きの神事

御神像拝戴神事

石鎚神社のみで行われる全国唯一の特殊神事。

※祭典の後

招福獅子舞

(西田獅子舞保存会)

縁起行事のご奉納予定

ご本殿にて

新春特別祈禱

境内にて

招福縁起物の頒布

石鎚神社青年部を中心に、ご奉仕いただく若人等がご本殿授与所にてお待ち致しております。

『中宮成就社』

正月元日(午前五時より)

元 旦 祭

一年の始まりを成就社にて。雪化粧をまとった霊峰石鎚山に初日の出を見て、いのちの輝きを感じましょう。

※祭儀の後

御神像拝戴神事

新春特別祈願のご奉仕

新春招福縁起物頒布

※例年通り成就社初詣参拝者に石鎚神社より、先着五〇〇名の皆様に参拝記念品を贈呈します。

※コロナ禍の影響で、予定を変更する場合があります。

星祭り祈願の「ご案内」

令和四年十二月二十二日(冬至)

星祭祈願始め祭 午後四時より

令和五年二月三日(節分の日)

星祭祈願納め祭 午前十一時より

星祭りとは、年の変わり目に

各人の持つ「生まれ星」を祭り、悪い年は災難を免れるように、良い年は一層良くなるようにと一年間の幸福と除災の祈願を石鎚大神の御神徳をいただきます。本年以上に幸多き年となります。ことを祈願するものであります。祈願札に、ご氏名を記入奉製し、冬至の日の夕刻より節分の日まで、神職が朝夕に清祓・ご祈願いたします。

満願の日である節分の日には、本社にて古神札神納浄火祭に次いで節分祭・星祭祈願納め祭が斎行されます。

たくさんの方々のお申し込みと祭典の参列を心よりお待ちしております。

記

星祭祈願申し込み要項

＊お申し込みは、所属組合長・教会長・遙拝所長を始め、先達教師の各位並びにお世話までこれまでご奉仕の各位を通じてお申し込みください。心当たりが無い方は、本社星祭り係までご連絡ください。

＊祈願札は、節分の後にお世話人様に発送し、皆様方にはお世話人様よりお受け取りいただきます。

※初穂料

一件、三百円
外、五百円
千円

二千円

三千円以上 等の初穂料
それぞれの初穂料に応じた特別の神札を奉製し祈願いたします。

お願い

お申し込み各位には、楷書にて文字をはつきり丁寧にご記入ください。これを以て神札に記入しますので、宜しくお願います。

また本年も帳面表紙に「お世

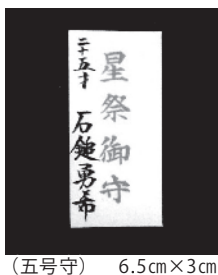
話人補佐」の欄を設けております。これにはお世話人のお手伝いをしていただいております。先を記入ください。これは、お名前など記入不足があつた場合、確認等を取らせていただくためにお伺いしています。なにとぞご協力をお願いします。

また三千円未満でお申し込み頂きました方には、送料百円を別途お供え頂いております。

その他、ご質問や不明な点、お問い合わせがありましたら、本社星祭り係までお尋ねください。

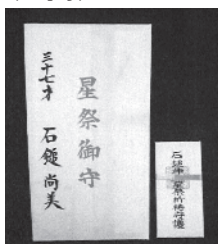
以上

星祭特別五号守 五百円以上



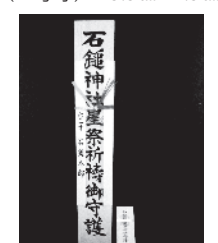
(五号守) 6.5cm×3cm

星祭特別二号守・六号守 二千円以上



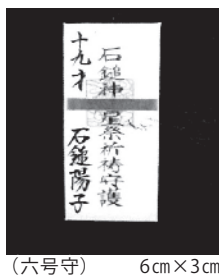
(二号守) 13.5cm×7.5cm

星祭祈願特別木札・六号守 五千円以上



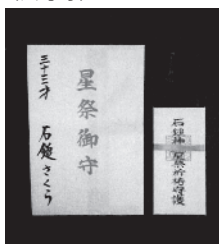
(木札) 高さ37cm

星祭特別六号守 三百円以上



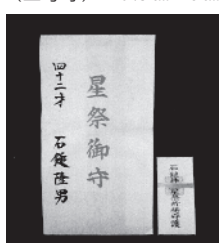
(六号守) 6cm×3cm

星祭特別三号守・六号守 千円以上



(三号守) 9.5cm×6cm

星祭特別一号守・六号守 三千円以上



(一号守) 16cm×9cm

令和五年数え年・生年・干支・九星・納音早見表

木四 星緑		土五 星黄		金六 星白		金七 星赤		土八 星白		火九 星紫		水一 星白		土二 星黒		木三 星碧	
癸酉 九十一歳 九十三歳 金		壬申 九十二歳 九十四歳 金		辛未 九十三歳 九十五歳 土		庚午 九十四歳 九十六歳 土		己巳 九十五歳 九十七歳 木		戊辰 九十六歳 九十八歳 木		丁卯 九十七歳 九十九歳 火		丙寅 九十八歳 一百歳 火		乙丑 九十九歳 一百一十歳 土	
壬午 八十二歳 八十四歳 木		辛巳 八十三歳 八十五歳 金		庚辰 八十四歳 八十六歳 土		己卯 八十五歳 八十七歳 木		戊寅 八十六歳 八十八歳 火		丁丑 八十七歳 八十九歳 土		丙子 八十八歳 九十歳 水		乙亥 八十九歳 九十一歳 火		甲戌 九十歳 九十二歳 土	
辛卯 七十三歳 七十五歳 木		庚寅 七十四歳 七十六歳 金		己丑 七十五歳 七十七歳 土		戊子 七十六歳 七十八歳 木		丁亥 七十七歳 七十九歳 火		丙戌 七十八歳 八十歳 土		乙酉 七十九歳 八十一歳 水		甲申 八十歳 八十二歳 火		癸未 八十一歳 八十三歳 土	
庚子 六十四歳 六十六歳 土		己亥 六十五歳 六十七歳 金		戊戌 六十六歳 六十八歳 土		丁酉 六十七歳 六十九歳 木		丙申 六十八歳 七十歳 火		乙未 六十九歳 七十一歳 土		甲午 七十歳 七十二歳 水		癸巳 七十一歳 七十三歳 火		壬辰 七十二歳 七十四歳 土	
己酉 五十五歳 五十七歳 土		戊申 五十六歳 五十八歳 金		丁未 五十七歳 五十九歳 土		丙午 五十八歳 六十歳 木		乙巳 五十九歳 六十一歳 火		甲辰 六十歳 六十二歳 土		癸卯 六十一歳 六十三歳 水		壬寅 六十二歳 六十四歳 火		辛丑 六十三歳 六十五歳 土	
戊午 四十六歳 四十八歳 土		丁巳 四十七歳 四十九歳 金		丙辰 四十八歳 五十歳 土		乙卯 四十九歳 五十一歳 木		甲寅 五十歳 五十二歳 火		癸丑 五十一歳 五十三歳 土		壬子 五十二歳 五十四歳 水		辛亥 五十三歳 五十五歳 火		庚戌 五十四歳 五十六歳 土	
丁卯 三十七歳 三十九歳 火		丙寅 三十八歳 四十歳 金		乙丑 三十九歳 四十一歳 土		甲子 四十歳 四十二歳 木		癸亥 四十一歳 四十三歳 火		壬戌 四十二歳 四十四歳 土		辛酉 四十三歳 四十五歳 水		庚申 四十四歳 四十六歳 火		己未 四十五歳 四十七歳 土	
丙子 二十八歳 三十歳 土		乙亥 二十九歳 三十一歳 金		甲戌 三十歳 三十二歳 土		癸酉 三十一歳 三十三歳 木		壬申 三十二歳 三十四歳 火		辛未 三十三歳 三十五歳 土		庚午 三十四歳 三十六歳 水		己巳 三十五歳 三十七歳 火		戊辰 三十六歳 三十八歳 土	
乙酉 十九歳 二十一歳 土		甲申 二十歳 二十二歳 金		癸未 二十一歳 二十三歳 土		壬午 二十二歳 二十四歳 木		辛巳 二十三歳 二十五歳 火		庚辰 二十四歳 二十六歳 土		己卯 二十五歳 二十七歳 水		戊寅 二十六歳 二十八歳 火		丁丑 二十七歳 二十九歳 土	
甲午 十歳 十二歳 土		癸巳 十一歳 十三歳 金		壬辰 十二歳 十四歳 土		辛卯 十三歳 十五歳 木		庚寅 十四歳 十六歳 火		己丑 十五歳 十七歳 土		戊子 十六歳 十八歳 水		丁亥 十七歳 十九歳 火		丙戌 十八歳 二十歳 土	
癸卯 一歳 三歳 土		壬寅 二歳 四歳 金		辛丑 三歳 五歳 土		庚子 四歳 六歳 木		己亥 五歳 七歳 火		戊戌 六歳 八歳 土		丁酉 七歳 九歳 水		丙申 八歳 十歳 火		乙未 九歳 十一歳 土	

〔注意〕 各人の満年齢は、左記の数え年から、各人本人の誕生日前には二歳、誕生日以降には一歳を差引ければ得られる。
アラビア数字は、ことしの誕生日以降の満年齢である。子・辰・申の年は閏年となる。

石 鎚 社

新春特別祈祷の御案内

正月一日～三日まで連日

申込みの方々を御祈祷！

三日間、本殿で御祈祷後、

新春特別祈祷神札を、お届けします。

石鎚神社では、新春特別祈祷を、元旦より三日間、斎行致します。

私達は日頃より、天地自然の恵みの中で生かされて戴いており、より豊かな意義のある生活を送っています。その中でもすれば、健康を害し、心の調和が乱れ、人間関係が円滑に行われず、日常生活に支障を生じる場合があります。

新しく年を迎えるに当たり災厄からのがれ、家内仲睦まじく健康に、諸願成就の御守護を願う特別祈祷を、御案内申し上げます。

尚、初穂料は下記の通りです。

左記申込用紙を御利用下さい。

新春特別祈祷用木札

① 舟中札



24×7×0.7 (cm)

② 小木札



42×10×1.3 (cm)

③ 大木札



60×13×1.5 (cm)

新春特別祈祷初穂料

大木札 壹万円以上

小木札 五千円以上

舟中札 五千円以上

申込先

〒七九三ー八五五五

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社 新春特別祈祷係

TEL ○八九七ー五五ー四〇四四

FAX 五五ー七二四二

石鎚神社新春祈禱申込書

令和 年 月 日

祈願内容

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ☐ 家内安全 | ☐ 厄除延命 |
| ☐ 当病平癒 | ☐ 身体健康 |
| ☐ 海上安全 | ☐ 職場安全 |
| ☐ 試験合格 | ☐ 商業繁栄 |
| ☐ 学業成就 | ☐ 良縁成就 |
| ☐ 交通安全 | ☐ 心願成就 |

祈願一件につき右記を参照に
祈禱木札の番号を記入下さい。
お札の大きさは12ページを
参照下さい。

舟中札…① 小木札…② 大木札…③

5,000 円以上…①、②

10,000 円以上…①、②、③

発 送 先

氏 名	
住 所	

〒 番号

No.

祈 禱 者 名 簿

初穂料合計一金

円也

(フリガナ) 氏 名		願 意		初穂料	円	木札番号	
生年月日	大平 昭令 年 月 日	住 所	〒				
(フリガナ) 氏 名		願 意		初穂料	円	木札番号	
生年月日	大平 昭令 年 月 日	住 所	〒				

◎送金方法

①郵便振替

②現金書留

石鎚神社 縁起物招福セット

※干支の置物は卵になります



令和四年より六品セットとなります。

初穂料 ￥4,500円也(送料着払い) 限定:100セットです。

※お正月前(12月中旬頃)に、ご自宅へお届け致します。

◎セットのご説明(六品)

①福箕 ②御神酒 ③干支置物 ④御塩 ⑤石鎚神社カレンダー ⑥石鎚魔除け猿

①福箕(ふくみ)(天狗のお面)(寸法:14cm×17cm)

凡そ1300年前、役行者(えんのぎょうじゃ)に開山され日本七霊山の一つ・霊峰石鎚山には、石鎚山法起坊(いしづちざんほうぎぼう)という大変お徳の高い天狗様が居られ、その有難い御蔭(おかげ)をお面と箕(み)で現しております。新年の招福・招運に毎年新しくお飾り下さい。

②御神酒(寸法:19cm×7cm)

金粉入りのお目出度い御神酒(おみき)です。
一年の契機、好き(よき)時(とき)にお召し上がり下さい。

③干支置物(寸法:9cm×14cm)

年毎、新しき干支を陶器の置物にて作成しております。
一年間の慶賀としてお飾り下さい。

④御塩(みしお・280g)お供え、お清め、お食事等にご利用下さい。

⑤教化カレンダー(上下見開きA3サイズ)

⑥石鎚魔除け猿(寸法:約3cm×約2cm)※一つ一つ手作りの為、猿の色柄・大きさは全て異なります。

石鎚みやげの伝統であります「石鎚魔除け猿」は、江戸時代の頃よりお山へ登拝の方が身につけていました。
石鎚山に懸かる鎖へ一心に身を預けよじ登る姿を現しているとされ、さるは猿(申)=去るに通じ災難厄除などの意味もあります。

きりとり線

招福セットお申し込み用紙 金4,500円也 合計 円(送料のみ着払いにてお送り致します。)

氏 名		お 電 話	()
注文個数		郵便番号	〒 -
	個	ご 住 所	

※招福セットと一緒に振込用紙をお送り致します。

石鎚神社教化カレンダー謹製 (100部限定)



上下見開き A3サイズの大きさです。



表紙 A4サイズ

社務所窓口、 ホームページ等にて受付。

お申込先：石鎚神社 担当：権瀬宜 山崎
〒793-8555
愛媛県西条市西田 797
TEL 0897-55-4044
FAX 0897-55-7242
<http://ishi@ishizuchisan.jp/>



初穂料 ¥1,000 送料別途

送料の目安

1冊～4冊迄¥200、5冊～10冊迄¥300

～ ご案内 ～

カレンダーの各月の写真は、当社と深く御縁を頂いております写真愛好家の先生よりご提供を頂き、各月には『温故知新』と致しまして宮司管長を始め、石鎚敬神婦人会会長、先達の皆様方の神縁・人縁の言葉を掲載しております。日付には、旧暦と六曜を載せておりますのでご活用いただければ幸いです。数に限りがございます。ご利用の皆様はお早めにお声がけいただければ幸いです。

きりとり線

教化カレンダーお申し込み用紙

金1,000円

合計

円(送料別)

氏 名		お 電 話	()
注文数		郵便番号	〒 -
	部	ご 住 所	

※教化カレンダーと一緒に振込用紙をお送り致します。

☆ご案内☆ 第七十三回 石鎚本教所属 教師講習会

三月三日(金)・
三月五日(日)

- ※(特別な事情がある者は本社までお尋ねください)
- 一、禊行に参加の事
(行衣は各自持参)
 - 二、終了奉告祭に祭員として奉仕の事(見学不可)
 - 一、期間中の遅刻・早退・中座は認めません

日程

◎集合

・三月三日午前七時

(前日二日の宿泊は無料。)

※前泊は基本的に県外の方対象です。

◎駐車場

・第一駐車場右手青い建物方へお願い致します。

◎受講料

・三万円

著衣・教本・昇進料等は別途

◎持参品

筆記用具・白衣・襦袢・帯・白袴・白足袋・草履・笏・印鑑・教本(祭式大成・教師必携)・禊行用襪(男性)・禊行用行衣(女性用)・着替え・洗面用具・ねまき(白い物)

記

受講規定

- 一、先達であること
- 一、教会所属の方は教会長の承認・推薦、遙拝所所属の方は遙拝所長および教区長の両名の承認・推薦、無所属の方は教区長の承認・推薦のある者

申し込み期限
◎二月十五日(厳守)

※尚、講習会前日の午後五時より当日の午後正午迄、京都の装束竹重さんが、会館二階にて装束の販売を致しております。ご利用の方はお尋ねください。

《教師志願初めての方について》

- ① 先達資格を有する事
 - ② 講習受講者である事
 - ③ 教会所属の方は教会長の承認・推薦(署名・捺印)。遙拝所所属の方は遙拝所長および教区長(崇敬組合長)両名の承認・推薦(署名・捺印)。無所属の方は教区長(崇敬組合長)承認・推薦(署名・捺印)のある者。※署名・捺印無き申請書類は受理出来ません。
 - ④ 本社の要請に応じられる事
 - ⑤ 住民票と本籍地発行の身分証明書を準備の事
 - ⑥ 無所属(当社・当本教の教会・遙拝所に所属無し)の方は、教師資格修得後一年以内に当社・当本教の教会・遙拝所に所属することを必ず要する。
- ## 《教師昇進について》
- ① 講習会を受講の事
 - ② 星祭り・大麻のお世話について願書に必ず記入の事
 - ③ 教会・遙拝所への協力・奉仕のある者
 - ④ 本社の要請に応じられる者
 - ⑤ 右、規定に該当し、規約に定める年功に該当承認・推薦のある者
- ## 《祈祷免状について》
- ◎次のページをご参照ください。

※当社教会・遙拝所に所属の方のみ申請を受付致します。

※教師資格・祈祷免状取得者の中に、教師義務金の滞納、星祭り・大麻のお世話なき場合、規定年数を超えますと、教師資格・祈祷免状の取り消しと台帳削除を致します。ご考慮ください。

以上

ご不明な点、お問い合わせは、本社・山崎までお尋ね下さい。



石鎚本教所属教師講習会 祈祷免許の申請について

石鎚本教所属教師講習会並びに祈祷免許申請の案内状は崇敬組合長・各教会・遙拝所宛に、十二月末発送。

【祈祷免許申請資格】

※当社教会・遙拝所に所属の方のみ申請を受付致します。

①教師講習会五回以上受講、内、本社講習会を二回以上受講。

②過去三年間、毎年神社大麻十体以上・星祭り祈願三十体以上の奉仕実績。

(※教会・遙拝所所属後、無所属の者は、過去三年間、毎年神社大麻二十体以上・星祭り祈願八十体以上の奉仕実績を要す。)

③お山開き大祭に十名以上の先達奉仕のある者。

④教師階級は中講義以上。(中講義同時昇進申請可能)

⑤預かり賽銭のお世話人の実績。

⑥教会所属の者は教会長の・遙拝所所属の者は遙拝所長及び教区長の・無所属の者は教区長の承認、推薦のある者。(特別な事情がある場合には、本社迄お問い合わせ下さい)

⑦将来、講社・遙拝所の組織結成・設立に志せる者。

『祈祷免許申請申し込み期限』

令和五年 一月 二十五日

『審査概要』

①『教師講習会開催迄の事前課題』(未提出者は失格)

※事前課題用の奉書紙はご自身でご準備下さい。

②『祭式審査』

③『面接』

☆事前課題の内容については、申請後に詳細を通知。

☆指定された各種課題・期限を始め、本社の指示に延滞の場合、申請資格を失います。

☆審査の流れは、事情により若干の変更の可能性有り。 以上

第 73 回本教所属教師講習会 (令和五年)

講師紹介

石鎚神社宮司・石鎚本教管長 武智 正人 先生

石鎚神社権宮司・石鎚本教宗務局長 十亀 博行 先生

石鎚神社禰宜・石鎚本教宗務局次長 曾我部英司 先生

石鎚神社豊友会 諸 先生

	3月3日(金)	3月4日(土)	3月5日(日)
5-	集合・受付		
6-		禊 行	禊 行
7-			
8-	開講奉告祭	清掃・朝食	朝食 8時～8時半
9-	開 講 式	行事作法	配列確認・習礼 8時50分～10時20分
10-	神社・本教の概要 十亀宗務局長		休憩・装束着装 10時半～10時50分
11-	本教教師の心得 武智管長		終了奉告祭(全員奉仕) 11時～12時半
12-	作法講習(基礎作法)		休 憩
13-	昼 食		閉 講 式 12時50分～13時半
14-	作法講習 (基礎作法とその解説)	行事作法	解 散 13時半～
15-	行事作法		※都合によりプログラム 変更場合があります。 ※今回は、講習会終了後の 直会弁当でございますが、 本社の宿泊はございません。
16-			
17-			
18-	夕 食		
19-	行事作法	作法講習 (御神像拝戴)	
20-	神道作法について	所役発表	
21-	夕 拝	夕 拝	
22-	入浴・就寝	入浴・就寝	
23-			



第五十二回 石鎚山三十六王子社 巡拝報告

令和四年十月二十四日
二十七日

さんじゅうろく おうじしゃ おおかみさま み こ がみ
《三十六の王子社とは 大神様の神子神さま 三十六社》

王子社とは、石鎚大神様の御子神様の御社
 霊峰石鎚山中の、三十六カ所にお祀りされている
 古来、先達は三十六王子社を巡拝しつつ、御山に参詣した

石鎚本教教会聯合会主催(佐伯良子会長) 三十六王子巡拝行が、三泊四日の行程にて行われました。本年は総勢十七名にて巡拝致しました。全国各地より寄せられました377冊「祈願納め札」の総計487名のお申し込みを頂き、各王子社では皆様方の祈願札の読み上げをし、それぞれの王子社の納め箱に奉納致しました。本年も台風の発生に伴いお山の巡拝路が懸念されておりましたが、大神様と御子神様のお導きを頂き、4日間の行程も良き天候に恵まれ難所第二十六番・窟の薬師王子社の巡拝路も怪我無くお導きを頂き、全行程ご加護の元、恙なく巡拝行をさせて頂きました。

改めてお伝え致しますと皆様から寄せて頂きました「祈願納め札」は各王子社の納め札箱に一年間奉納し、御神徳を賜り諸願成就へとお導き頂きます。またこの度の巡拝行にて、各王子社の祭事にて読み上げました「祈願読み上げ札」は、本社本殿内に一年間お納めして御加護を賜ります。

今回の三十六王子巡拝行にて、ご協力・ご理解頂きました組合・教会・遙拝所・講社等の関係各位の諸先生方にこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

併せまして本年も心温まるお接待をして頂きました、下関教会様・福岡神和教会様・吉田教会様・極楽寺様、誠に有難うございます。

来年は五十三回でございます、皆様方のご参加並びにご協力をお願い申し上げます。

(三十六王子社先達の証)

(三十六王子社巡拝御守)



(※右の先達の証は、三十六王子社巡拝行

五回目の参加者の方に授与され、三十六王子社先達の刻入を先達会付に付ける事を許可されます。)

◎先達の証 該当者(敬称略)

・日高史朗(福岡県) ・勝本貴大(愛媛県) ・高橋李容(愛媛県) 以上

中宮 土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年奉祝 改修工事奉賛会



銅板御屋根の葺き替え

現在の御屋根は三十年来の風雨雪により、傷みが激しく雨漏りをしています。

新たに銅板にて御屋根を葺き替え、石鎚大神様が御鎮座されるにふさわしい御社殿になる様、計画致しました。

木部外壁部の張替・防水対策工事

御本殿外壁の木部は、長年の風雨雪や直射日光により木が割れ、横からの漏水が激しくなりました。

石鎚大神様の御鎮座される御社殿としてふさわしく、木部外壁の張替工事、防水対策工事も計画致しました。

周辺整備

御本殿のコンクリートの外回廊も前回の防水工事より年数を経て機能が低下してきました。

正面階段中央のモミの木が成長し、石畳が浮き上がり参拝者が躓く事も予想されます。

これからの維持管理の為、外回廊の防水工事・石畳の一部改修・また殿内の畳の取り替え等を計画致しました。

改修工事費

- ①銅板御屋根の葺き替え 五、二〇〇万円
- ②木材外壁部の張り替え・防水対策工事 一、八〇〇万円
- ③周辺整備 五〇〇万円

合計 七、五〇〇万円

奉祝費

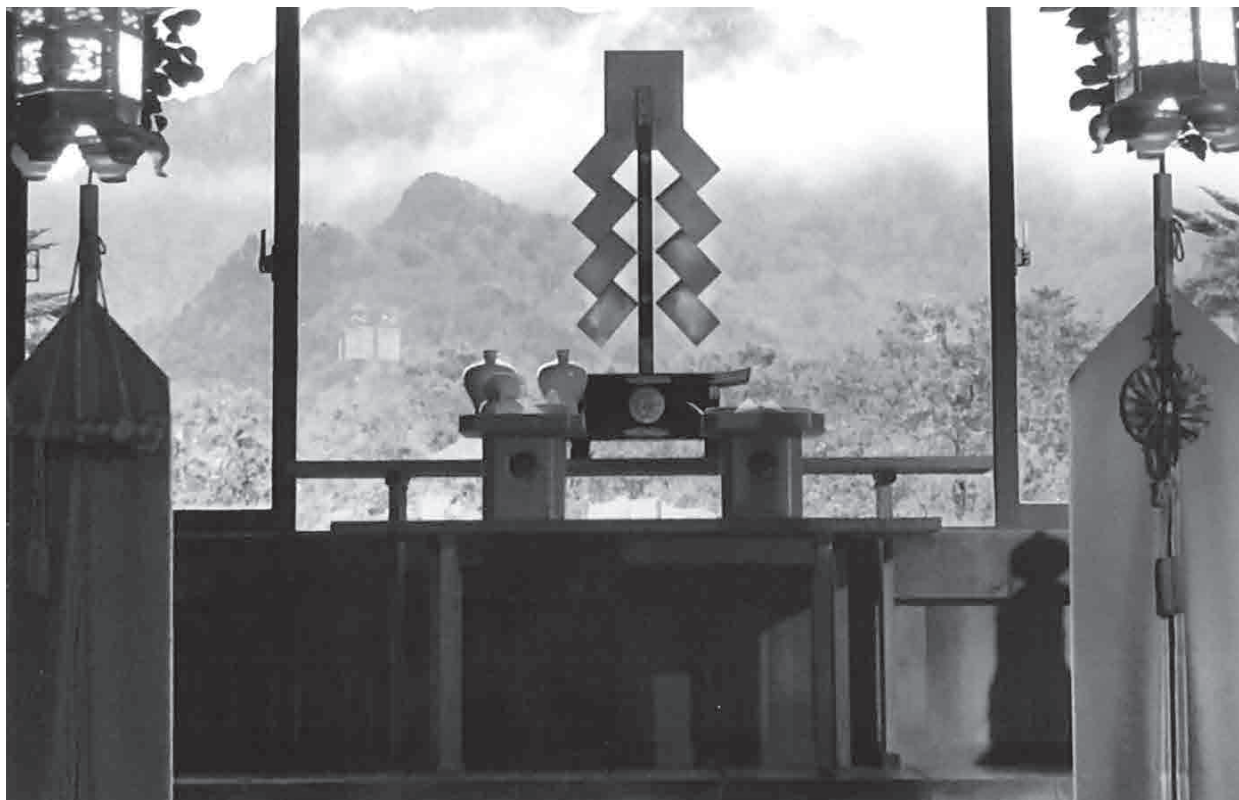
- 一、奉祝大祭、奉祝式典、殿内掲額 一、〇〇〇万円
- 事務費、予備費

計 八、五〇〇万円



ご奉賛者・「ご芳名」は土小屋遥拝殿内に永久保存されます。

奉 賛 金 額	ご芳名	銅板記名	御神札	記念品	感謝状	掲 額	ご案内
2,000円未満	○						
2,000円以上	○	○					
1万円以上	○	○	○				
5万円以上	○	○	○	○			
10万円以上	○	○	○	○	○	○	○
20万円以上	○	○	○	○	○	○	○
30万円以上	○	○	○	○	○	○	○
50万円以上	○	○	○	○	○	○	○
100万円以上	○	○	○	○	○	○	○



【 せとうちバス 】 【 石鎚登山ロープウェイ 】

伊予西条駅⇄西之川

運行時刻表

※2022/10/1 現在

路線バス：せとうちバス

西条駅(発)	ロープウェイ前着	ロープウェイ前発	西条駅(着)
7:47	8:41	◎6:56	◎7:50
10:27	11:21	9:12	10:06
13:37	14:31	12:02	12:56
		15:17	16:11
16:23	17:17	17:23	18:17

◎日曜日、祝日運休

※停留所多数のため割愛

せとうちバス

周桑営業所 TEL(0898)72-2211
本 社 TEL(0898)23-3450

年末・年始の運行

12月31日(土) 午前8時40分～午後5時
元 日(日) 午前4時～午後5時
2 日(月) 午前8時40分～午後5時
3 日(火) 午前8時40分～午後5時
4 日(水) 午前8時40分～午後5時
(定期便20分毎 臨時便10分毎)

詳しくは各社へお問い合わせ下さい

ロープウェイ料金

大 人 2,000円
小 人 1,000円
30名以上 大人1,800円 小人900円
100名以上 大人1,600円 小人800円

一年中登山できる唯一の交通機関

石鎚登山ロープウェイ

西条市西之川 TEL 0897-59-0331
ロープ運行テレホンサービス 0897-59-0101

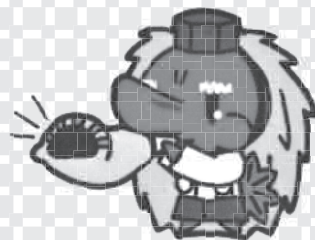
教区長(崇敬組合長)名一覽表

令和3年12月1日付

組 合 名	組合が包括する区域	組 合 長 名	住所・郵便番号・電話番号
東 予	愛媛県の新居浜市以東 香川県・徳島県・兵庫県以東	河端 光則	新居浜市中村松木1丁目10番46号 〒792-0041 TEL 090-1006-0158
西条周桑	愛媛県の 西条市	佐伯 義明	愛媛県西条市小松町妙口甲106-4 〒799-1104 TEL 0898-72-3954
今治越智	愛媛県の 今治市・越智郡	小林 敏朗	今治市玉川町小鴨部甲531-6 〒794-0112 TEL 0898-55-2725
中 予	愛媛県の 松山市・東温市	山本眞理子	東温市南方2124-38-305 〒791-0301 TEL 090-4505-7458
上 浮 穴	愛媛県の 上浮穴郡	坪 内 続	上浮穴郡久万高原町日野浦7030 〒791-1503 TEL 0892-56-0378
南 予	愛媛県の伊予市以西 南宇和郡まで	山内 康治	西予市宇和町卯之町4-410 〒797-0015 TEL 0894-62-5533
高 知	高知県全域	出原 孝文	香南市野市町西野370-3 〒781-5232 TEL 090-7144-8024
東洋大心	岡山県と 広島県東部の一部	平松 史朗	倉敷市笹沖179-3 〒710-0834 TEL 086-424-2380
備 後	広島県中部より東	木 村 稔	福山市引野町3丁目33-6-1 〒721-0942 TEL 0849-41-5087
安 芸	広島県中部より西	三吉 真司	大竹市玖波町203 〒739-0656 TEL 0827-57-5278
山 口	山口県・島根県・鳥取県	加藤 法泰	下関市吉見古宿町9-7 〒759-6521 TEL 083-286-5010
福 岡	佐賀県・長崎県・熊本県 鹿児島県・福岡県全域	梶原 倫子	北九州市門司区大里戸ノ上4-2-22 〒800-0024 TEL 093-372-1101
大 分	大分県・宮崎県	浦 松 傳	大分県別府市竹の内6組の1 〒874-0841 TEL 0977-22-9045

総会報告号

石 虫 の 声



編集前記

去る令和四年八月十八日
 ～八月二一日の間、第五十六回石鎚青少年錬成会は新型コロナウイルスの影響で中止となった中、青年部では青年部会員の団結力の向上や行動力を磨くこと、青年部内の親交を深めること、それにより石鎚青少年錬成会や正月奉仕などの行事・奉仕の能率の向上・成功を目指すことを目的として、十分な感染対策を講じ、高知研修・作法講習・錬成会のシミュレーションおよび定例総会を行いました。

また、新入会員の加入や、新しい取り組みなど青年部の若々しさが輝くひと夏となりました！

今回の虫の声はそこでご報告として編集しました。ご一読いただければ幸いです。

寺川

高知研修

第五十六回石鎚青少年錬成会がコロナによって中止になり、代わりとして高知研修を行いました。

土佐神社

この度土佐国一宮である土佐神社に自由参拝というではありませんが参拝させていただきました。

丁度朝拝をされていた模様でしたので外からではありませんが拝見させていただきました。

村田

野市動物園

野市動物園では、動物たちは生息地に近い暮らしをしながら自然な姿や表情を私たちに見せてくれました。

印象に残っているのとしては、キリンやシマウマなどがあるアフリカ・オーストラリアゾーンです。いつも画面越しで見えていた動物を実際見ることが出来たときはワクワクしました。

宇佐



縁起物



ハシビロコウ



土佐神社

桂浜

桂浜では桂浜水族館に訪問し、桂浜や太平洋が一望できる環境の中、大自然を感じながら、黒潮で獲れる魚を観察し、また生き物への餌やり体験を行いました。

竹林寺

竹林寺では書院と宝物館に訪れました。書院から見える名勝庭園は心が和む素晴らしい景色でした。宝物館では国文重要文化財指定の仏像十七体が奉安されていました。どちらも貴重な体験でした。

十亀

牧野植物園

牧野植物園では様々な植物が植栽されており普段目にする植物もここでは少し違って見えました。温室の中には木々のなかに小さな滝があり外はたくさん植物が日光に照らされており綺麗でした。

十亀



別子銅山

別子銅山では時代の変化による暮らしの違いを看板や当時のものの再現を通して学ぶことができました。また砂金採りなど貴重な体験をすることができました。

古賀

総合科学博物館

総合科学博物館では過去の地球に存在していた生態系や宇宙について平明に学び、実際に科学を用いた科学技術館が特に印象に残っています。普段はできない様々な経験をすることができました。

古賀



錬成会講習会

青年部OBで現石鎚神社職員
の佐々木先生にお話を伺いました。

過去の錬成会や青年部の事をお聞きたのですが昔は錬成会の人数とかも今とは比較出来ない位多かったみたいで非常に驚きがありました。

佐々木先生のお話の後、曾我部先生に拝礼の角度や玉串拝礼などの作法についても教えていただきました。

いままで角度に関してはそこまで気にしていなかったのですが、すごく良い経験になりました。

村田



総会総括

去る令和四年八月二十一日午後三時より、石鎚神社石鎚本教石鎚青年部の第五十回定例総会が行われました。

今回の定例総会では、役員改選が行われ、会長・副会長の交代など青年部の世代交代に向けての役員編成が行われました。

また、青年部の広報紙として、手軽に青年部の情報を見られるのがき「青天」、青年部の年間活動を新聞形式で発信する「青峰」の発行が決議されました。また新たな取り組みとして、インスタグラムも開設することが決まりました。

その他、石鎚青少年錬成会や青年部内の役割分担など、今後の青年部の運営に欠かすことのできない議題が話し合われ、無事終わることができました。

寺川

会長退任
副会長就任挨拶

去る令和四年八月二十一日の石鎚神社・石鎚本教・石鎚青年部定例総会にて役員改選が決議され平成二十八年に拝命し七年間務めました当会の会長の職を任期満了に伴い辞することとなり、当会の副会長として青年部の広報と人事の職を司ることとなりました。

思い返せば十年前第四十八回石鎚青少年錬成会の閉講後、青年部に入会したとき諸先輩方が五十回の記念回に向け血気盛んに準備に取り組み・活動し、その勢い石鎚に吹き荒



れる嵐のようにそれはすさまじいものでした。正直青年部という組織を会員としてしか見たことがなく、その姿に圧倒されつくされると同時に、この会にないめるかまた、青年部の諸先輩方・神社の神職や職員の方々、敬神婦人会の方々、そして錬成会に来ていただいている会員の皆様に認められるような人物になれるのか、不安な青年部の活動の日々が一年間続きました。

しかしながらその心配も諸先輩方や青年部の活動にご理解ご協力をして頂いております皆様、瀬戸内海の波のように優しく、天狗岳のような大きな存在とその心で受け止めて頂き未熟ながら青年部の会長を拝命できるまで成長できました。

在任中は公私ともに波乱万丈でしたが、錬成会・正月奉仕・研修旅行・そして日々の活動生活を皆様に支えていただきました。元号の改定や新型コロナウイルスの流行・東京オリンピックなど世間を騒がす物事も様々あり、特に新型コロナウイルスの流行では三年に渡つての石鎚青少年錬成会の中止に涙をのみ、地元の青年部のみでの正月奉仕、まったく活動ができなかった年度などある意味、我慢を勉強し

その中で最大限できることに取り組む姿勢を学習できました。

在任中の青年部の活動に参加していただきました二十三名の現職・OB・OGの方々には一人ひとりにお礼をお伝えしたい場面ではありますが、この場をお借りしまして深く御礼申し上げます。これから私自身は青年部の副会長として人事と広報を司ることとなりました。人事も広報も今までの私の青年部の活動の中で本格的にさせていただいたことはありませんが、

拝命されたからには「青年部はこの人あり！」と思つていただけるような働きを心がけたいと思います。

また会長経験者として青年部の年長者として青年部の皆様のお力に少しでもなり、また新任の宇佐会長を支えられるような人物となれるよう今まで以上に全力で活動に励みたいと思います。

寺川

新会長挨拶

この度、青年部会長に就任しました宇佐つぐむです。

前会長、寺川さんには心より感謝を申し上げます。

前会長には行動力の早さ、青年部をまとめあげる強力なりーダーシップなどのお力を發揮していただきました。

令和四年八月二十一日の石鎚神社・石鎚本教・石鎚青年部定例総会にて会改選決議されました。そのため今年度は、新しいことを初めて行きたいと考えております。

この任期期間中においても大きな問題などがどんなに出てくるかもしれません。それらの問題解決に積極的に取組み、会員や石鎚神社・石鎚本教との連携をより深め、新しい状況を生み出す基盤を構築していきたいです。若輩者でまだまだ未熟な点が多々あるかと思いますが、精一杯務めさせていただきます。

宇佐

副会長挨拶

今回、副会長に就任させていただきました。日野太陽です。

私は会員としては二年目でよく知らないところもあり、青年部としての経験も不足しているのですが、それをこれからの活動を通して補つていこうと考えております。また、今年は、コ

ロナウイルスの影響もあり、錬成会等のイベントが出来ませんでした。青年部でも新しいイベント、取り組みを考えているのですが、私が青年部としての経験が少ない分このような場で会員を引っ張り活躍しようと考えております。また、外向けの取り組みだけでなく、青年部が盛り上がるような青年部内での取り組みも増やしていこうと考えております。これから経験不足で力足らずなところもあるかと思いますが、精一杯努めさせていただきます。

新青年部挨拶

この度、石鎚神社青年部に新しく加わることにになりました大滝耕太郎と申します。

私が石鎚神社青年部とのご縁を頂いたのは、青年部が発行していたパンフレットを両親が持ち帰ったことが始まりです。

コロナ禍により大学の活動が思うように出来ず学外で何かできないかと考えていた時にこのパンフレットに出会いました。そして、何かご縁がある

のかもしれないと思い、青年部に加入させていただぎました。青年部での活動を通して石鎚神社にご奉仕するとともに、自身の成長につなげていきたいと考えています。

至らない点もあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

大滝



引退挨拶

この度、就職の為青年部を引退させて頂くことになりました。九年前、未熟ながら青年部の一員として迎え入れて頂き、不安を抱えながら初めて活動した日が先日のように感じます。

初めて委員長をさせて頂いた錬成会では、閉講式が終わり笑顔で帰る会員の皆様を見て、嬉しさ、悲しさ、達成感、反省と様々な感情になったことを覚え

ています。副会長も経験させて頂き、後輩もできると、人に伝える事の難しさや自分の立ち位置に悩む事もありました。現在、就職し働いている中で青年部での経験が生きていると思う場面も多々あります。

沢山の迷惑をおかけしましたが、温かく見守り、指導して下さった青年部の先輩方・神社の神職や職員の方々、敬神婦人会の方々にこの場を借りて御礼申し上げます。今後は、自分の目標となる姿に少しでも近づけるよう努力していきたいと考えております。

石鎚神社・石鎚本教そして石鎚青年部のますますのご発展をお祈り申し上げます。九年間ありがとうございました。

古賀 眞子



青年部役員

令和四年八月二十一日青年部総会にて次の通り役員改選が可決されました。

旧役員

(会長) 寺川卓(副会長) 心石孝亮・古賀眞依(事務局長 村田和也(幹事) 古賀眞子(会計) 宇佐つぐむ・石川晴基(監査) 和田龍・石川詩起
令和四年八月二十一日迄

新役員

(会長) 宇佐つぐむ(副会長) 寺川卓・日野太陽(幹事) 古賀眞依・心石孝亮・石川詩起・古賀照子(会計) 石川晴基・十亀和真(監査) 和田龍・村田和也
令和四年八月二十二日より

引退 古賀眞子
入会 大滝耕太郎



編集後記

今回の虫の声はいかがだったでしょうか。今年は新型コロナウイルスの影響で3年連続石鎚青少年錬成会が中止となり来年こそは錬成会が開催できることを心より願っております。

青年部は新しい仲間や新しい広報紙、新たな取り組みを行っていきます。

新しくなった青年部を今後ともよろしくお願いいたします。



石鎚青年部会報

(発行所)

愛媛県西条市
西田甲七九七

(発行代表者)

石鎚青年部事務局
武智正人

(編集責任者)

寺川 卓

(編集集)

村田和也

(印刷所)

(有)プリ・キュウ・プレス

石鎚神社 頂上山荘

十一月三日の頂上社閉門祭に合わせ、
本年の頂上山荘の営業も終了いたしました。
ご利用いただきありがとうございました。

予約受付開始

1月20日 朝10時

営業期間 5月1日～11月3日

(気象状況により変更する事が有ります。)

予約・問合せ

「石鎚神社頂上山荘」



☎080(1998)4591

雪解けを迎えて石鎚詣でが始まる。

五月一日 奥宮頂上社の開門祭です。

開門祭にご参列の方は、四月三十日の宿泊が
出来ます。(有料・要予約)

料 金	1泊2食 大 人 9,000 円 小学生 5,500 円 消費税込
	小学生未満 宿泊 無料 (食事：応相談 就寝時は保護者の寝具でお願いします。)
宿泊定員	50名 (お山開き大祭：6/30～7/9は30名) 6/30・7/1の両日は、女性のご宿泊はご遠慮ください。

基本的に大部屋にて、ご宿泊いただきます。

※11月1日現在の予定

【お知らせ】

石鎚社報の購読料は年間六回発行
で、五百円です。購読料未納の方
は納付をお願いします。

納付年数が不明な方、発送中止が
希望の方は本社までご連絡下さい。
先達通信号(五月に送付)は先達
会符所有者に無料送付させて頂い
ております。

新規申し込みの方は

石鎚神社 社報係 担当 高橋季容

までお問い合わせ下さい。

石 鎚 社 報

〒七九三―八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四一六八 会館

五五―七二八一 FAX

五九―一〇一六 成就

五九―一〇四八 FAX

五三―一〇〇八 土小屋

【振替】〇一六八〇―〇一八三六〇

【発行代表者】武智 正人

【編集】山崎 浩司

【印刷所】プリ・キュウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社

で

検索